

令和6年度部局運営方針

上下水道部

運営方針

上下水道事業の経営基盤強化と施設の長寿命化を推進

上下水道は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送るうえで欠くことのできない都市基盤施設、ライフラインです。このため、地震や事故に強い上下水道システムの構築を図るとともに、持続可能で安定した上下水道事業の経営を目指し、経営の効率化及び健全化に取り組んでいます。

令和6年度は、令和5年度に中間見直しをした「上下水道ビジョン」に基づき、ビジョンの確実な推進と持続可能な上下水道事業経営の構築を図ります。上水道については、老朽施設の更新や耐震化事業を進めるとともに、広域化・共同化の検討を進めます。下水道については、未普及地域の解消や下水道管路の長寿命化を進めるとともに、水洗化率の向上と官民連携により、維持管理体制の充実を図ります。

【重点施策】

持続可能で安定した上下水道事業経営の構築



【めざす方向】

水道事業では、近隣市町村との広域的な連携や事務の共同化について検討を進めるとともに、民間活力の活用についても検討を行い経費削減に努めます。

下水道事業では、さらなる経営の健全化を進めるため、年度末の水洗化率96.2%を目指すとともに、官民連携手法による維持管理体制の充実を図ります。

水道事業会計及び下水道事業会計について、上下水道ビジョンの中間見直しを受け、収益的収支の黒字を維持するとともに、耐震化・長寿命化に対応すべく、今後の資本的収支の財源を確保するための方策を検討します。

安全で強靱な水道施設の構築



「水道施設整備計画」に基づき、水道施設中央監視設備更新工事や日野浄水場薬品注入設備更新実施設計業務、水道管路の布設替工事などにより、浄水・配水施設の計画的更新や耐震化を進め、安全で安心した水道水の供給を図ります。

また、災害時における重要給水管路等の耐震化を進め、年度末の耐震管率28.7%を目指します。

快適な生活環境を提供するための下水道の整備促進



生活排水のより一層の水洗化を図るため、公共下水道の未普及地域の下水道整備事業と浄化槽処理促進区域の公共浄化槽整備事業の取組をすすめる、汚水処理整備率96.1%を目指します。

安全で安心な下水道施設の構築



「下水道ストックマネジメント計画」に基づき老朽化のすすむ下水道施設に対し、長寿命化対策（第3期：R3～R7）を推進し、1,684mの管路更新とマンホールポンプ3箇所および滝畑浄化センターの通報装置の機器更新を行います。

また、災害時における避難所の生活衛生の確保のため、マンホールトイレ1箇所の整備を行います。